



警告表示について一

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

▲警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷 を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能 性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示 しています。

⊯ ENERGY STAR®

Ш

当社は ENERGY STAR[®] プログラムの参加事業者として、本製品が ENERGY STAR[®] プログラムの基準に適合していると判断します。

■本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
 ■本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
 ■本書に記載した会社名,商品名は、各社の商標または登録商標です。
 ■本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店までご連絡ください。



安全にご使用いただくために1
ご使用の前に
特長5
標準付属品5
スタンドベースの取り付け / 取り外し6
各部のなまえ
コンピュータとの接続8
コンピュータの設定9
パネルの角度調節9
操作手順10
調整メニューの内容11
画面の調整17
パワーマネージメント機能19
故障かなと思ったら
クリーニング
アフターサービス
保証書/保証期間について
修理サービス
リサイクル/廃棄について
付録 23
——船什样 23
外形寸法図 24
対応信号タイミング

もくじ

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。





万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したとき は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセント から抜いて販売店または iiyama サポートセンターに修理を ご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因と なります。





キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり 改造すると火災や感電の原因となります。 内部の点検や修理は販売店または iiyama サポートセンター にご依頼ください。



異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものな どの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでくださ い。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様 のいるご家庭ではご注意ください。

万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、 電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サ ポートセンターにご連絡ください。





花びんやコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置 かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や 感電または故障の原因となります。

万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、 電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サ ポートセンターにご連絡ください。





不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない でください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となり ます。

平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。 万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合 は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセント から抜いて販売店または jivama サポートセンターにご連絡 プラグを ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となりま す。





禁止

抜く

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しない でください。火災や感電の原因となります。





禁止

電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してく ださい。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ 前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プ ラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を 間違えると、感電の原因となります。



電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きに ならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ 張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損し て、火災や感雷の原因となります。

コードが傷んだらすぐに販売店または iiyama サポートセン ターに交換をご依頼ください。



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。感電の原因となります。



置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または 故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く



通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

- × チルトスタンドをはずす。
- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から 10cm 以上離して置いてください。



移動させるときは、外部の接続コードをはずす

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜 き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認 の上、移動させてください。火災や感電の原因となること があります。

本語



旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてくだ さい。火災の原因となることがあります。





禁止

コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してくだ さい。コンピュータが破損する原因となることがあります。





プラグを持って抜く

指示に従う

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張 らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因 となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いて ください。





ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電 の原因となることがあります。



24 時間連続使用しないで

本製品は、24時間連続使用することを前提として設計され ておりませんので、24時間連続して使用しないでください。

正しくご使用いただくために

目を大切に

¥

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40~60cmはなれたくらいが見やすくて疲れません。 Ш 使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を 見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

故障ではありません

- お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使 用ください。
- ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがあります。この場合、 電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。
- 液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。
- 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの 特性によるものです。
- 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像(焼 き付きのような症状)が発生する可能性があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改 善されます。
 - ・画面の表示パターンを変える。
 - 数時間電源を切っておく。
- 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店または iiyama サポートセンター までお問い合わせください。

ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

で使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。

また、付属のセーフティ&クイックスタートガイドに保証書が記載されていますので、「販売店名・ お買い上げ日」等の所定事項の記入及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。



標準付属品

■ 電源コード *

■ HDMI ケーブル

モニタ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

- D-SUB 信号ケーブル DVI-D ケーブル
- USB ケーブル
 - オーディオケーブル
- スタンドベース
- セーフティ&クイックスタートガイド/保証書
- 補足 * 付属の電源コードは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。 また、次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。
 - 付属以外の電源コードをお使いになる場合
 - 日本以外の国でお使いになる場合 サポート及び保証の対象外となることをご承知の上で日本以外でお使いになる場合は、 その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。

スタンドベースの取り付け / 取り外し

- ▲ 注意 スタンドベースの取り扱いは安定した台の上で行ってください。モニタが転倒・ 落下してけがや故障の原因となります。
 - モニタに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
 - スタンドベースの取り付けや取り外しを行う場合は、必ず AC アダプタを本機から取外し、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となります。

<取り付け>

- 平らで安定した台の上に、モニタの画面が傷付 かないようにやわらかい布を敷き、モニタの画 面を下にして置きます。
- ② 図のように本体にスタンドベースを取り付けます。



<取り外し>

- ① 平らで安定した台の上に、モニタの画面が傷付
 船 かないようにやわらかい布を敷き、モニタの画
 社 面を下にして置きます。
- ② 図のように底面のフックを押しながら、スタン
 ドベースを取り外します。





前面





- ① 電源スイッチ(())
- メニュー / 選択ボタン (MENU)
- ③ プラス / 音量調整ボタン(+)
- ④ 電源インジケータ
 補足 青色点灯:通常動作時 橙色点灯:パワーマネージメント時
- ⑤ マイナス / ECO モードボタン(−)
- 6 自動調整ボタン (AUTO)
- ⑦ スピーカー
- ⑧ USB コネクタ (⊶ **) **
- ⑨ USB コネクタ (⊶⇔) *1
- 10 電源コード接続コネクタ (ACIN)
- ① 盗難防止ロック用ホール
 補足 盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。
- ¹² ヘッドフォン端子 (HEADPHONE)
- 13 USB コネクタ (⊶→) *1
- (④ USB コネクタ (↔)*²
- 音声入力コネクタ (AUDIO)
- 1 D-SUB ミニ 15 ピンコネクタ (D-SUB)
- ⑦ DVI-D 24 ピンコネクタ (DVI-D)
- ¹⁸ HDMI コネクタ (HDMI)
- *1 USB 対応のマウスやキーボードなど周辺機器からのケーブルを接続します。
- *² 付属の USB ケーブルで USB 対応コンピュータと接続します。

コンピュータとの接続

- 於 警告 安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、 電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、 電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感 電の原因となります。
 - アースリードをコンセントに挿入,接触させないでください。火災や感電の原因となります。
- 注意 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。
 - 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。
 付属のケーブル以外のケーブルを使用すると不具合が発生することがあります。
- ① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。
- ② アナログ入力で使用する場合は D-SUB 信号ケーブル、デジタル入力で使用する場合は DVI-D 信号 ケーブルを、モニタとコンピュータに接続します。
 - 補足 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。
 - 1 台のコンピュータに D-SUB 信号ケーブルと DVI-D 信号ケーブルの両方を接続しないで ください。不具合が発生することがあります。
- ③ HDMI 接続ができる AV 機器を使用する場合は、HDMI ケーブルをモニタと AV 機器に接続します。*
- ④ オーディオ機能を使用する場合は、オーディオケーブルをモニタとオーディオ機器に接続します。
- ⑤ USB 機能を使用する場合は、USB ケーブルの コネクタをモニタと USB ケーブルの コネクタをコンピュータに接続します。
- ⑥ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。
- ⑦ モニタおよびコンピュータの電源を「ON」します。

[接続例]



Ш¥



- 信号タイミング 本製品がサポートしているお好みの解像度 (P.24「対応信号タイミング」参照) に設定してください。
- Windows 95/98/2000/Me/XP/Vista/7 プラグ&プレイ対応 本製品は VESA 規格の DDC2B に対応しています。DDC2B 対応のコンピュータと本製品付属の信号 ケーブルで接続することにより、Windows 95/98/2000/Me/XP/Vista/7 上でプラグ&プレイ機能が 動作します。この際、Windows 95/98/2000/Me/XPモニタインフォメーションファイルのインストー ルが必要になる場合がありますので、弊社ホームページのダウンロードサービスをご利用ください。 ホームページアドレス http://www.iiyama.co.jp
 - 補足 ダウンロード方法および操作方法についても、弊社ホームページに説明がありますので、 ご覧ください。
 - Macintosh または Unix については、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

パネルの角度調節

▲ 注意 ■ 角度調節の際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪 開いたいの場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。

- 角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。
- 液晶モニタは、正面から見る画面が一番きれい に見えます。
- 角度調節の際は、倒れないようにスタンド部を 必ず押さえてください。
- 調節範囲は上方向 20°, 下方向 5°です。
- 画面の角度は10°以内にすると目の疲れ等な く、最適に使用することができます。傾きを調 節して、見やすい位置でご使用ください。



操作手順

P.24の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続 するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従っ てボタン操作を行ってください。

オンスクリーン表示の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を選択してく ださい。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

 MENU ボタンを押すと、メニュー画面 (OSD) が表示されます。+/- ボタンでメニュー ページを送ります。



- ② 調整したいアイコンがあるメニュー項目を選択し、MENU ボタンを押します。 + / ボ タンで調整する項目を選択します。
- ③ 再び MENU ボタンを押し、+ / ボタンを使って調整や設定を行っていきます。
- ④ AUTO ボタンを押して終了します。
 メニュー画面が消えると調整や設定の内容を自動的に記憶します。

例えば垂直位置を調整したいときは、まずメニュー項目の表示設定を選択し、MENU ボタンを押します。次に + / - ボタンで 垂直位置を選択し、MENU ボタンを押します。

調整画面が表示されますので、+ / - ボタンでお好みの画面に調整します。最後に AUTO ボタンを押 して終了し、設定の記憶をします。

[
Ċ.		表示設定
	クロック	50
a î⇒		
*	フェーズ	50
	水半位置	50
OSD	玉古侍里	
	亜回辺直	50
J.	アスペクト	◀ フルスクリーン ▶

- 補足 調整中にボタン操作を中止すると、「タイムアウト」の設定時間後にメニュー画面が消えます。
 また、AUTOボタンを押すと1つ前の画面に戻り、メニュー画面を消すことができます。
 - メニュー画面が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「OFF」しないで ください。
 - 画面位置,クロック,フェーズの調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以外の調整項目については全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。

言語 (Language) で日本語表示を選択した場合を黒色、英語表示を選択した場合を青色にて記載しています。

♪ 輝度 Luminance		輝度 コントラスト 50 環度 50 エコモード ≼ オフ ト -Style Color ≼ 標準 ト ACR ≼ オン ト			
調整項目		画面の状態 / 調整ボタン			
コントラスト Contrast	弱すぎる 強すぎる	 			
輝度 * Brightness	暗すぎる 明るすぎる	 			
	オフ	ノーマル			
IX	Mode1	バックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。			
	Mode2	Mode1 よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を更に 低減します。			
ダイレクト調整	Mode3	Mode2 よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を更に 低減します。			
	標準	標準			
	テキスト	文章を作成するときなどに最適です。			
i-Style Color	インターネット	ト インターネットを使用するときなどに最適です。			
i-Style Color	ゲーム	ゲームをするときなどに最適です。			
	ムービー	映画を鑑賞するときなどに最適です。			
	スポーツ	スポーツを観戦するときなどに最適です。			
ACR	オフ	標準			
ACR	オン	コントラスト比を改善します。			
補足 ACR とは映像に応じて明るさを調節し、動画再生時にコントラスト比を改善する機能です。 ACR 機能使用時は、コントラスト,輝度, sRGB,エコモード, i-Style Colorの調整,選択は					

できません。

* 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、輝度を調整してください。

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

● エコモード:メニュー画面を表示していない時に、 – ボタンを押します。

日本語



*¹ 調整方法および手順については、P.17「画面の調整」を参照してください。

*² アナログ入力のみ

● 色温度 Color Temp.	● Gamma ◆ 温度 User-R User-G User-B	色温度 ▲ Mode1 ▶ ▲ ウォーム ▶ 50 50 50	
調整項目		画面の状態/	調整ボタン
Campan	Mode1	ノーマル	
Gamma	Mode2	ダーク	
	Mode3	ハイコントラスト	~
	ウォーム Warm	やや緑みがかっ†	こ ホワイト
	ノーマル Normal	やや黄みがかっ†	ミホワイト
色温度	クール Cool	やや青みがかった	トホワイト
Color Temp.		RED	Bd ま ぎろ 一 一 十 一
		GREEN	はなまる
	0361	BLUE	
	sRGB sRGB	sRGB	
補足 ■ sRGB とは、株 ■ sRGB モード ません。	機器間の色再現 (色彩、 では、コントラスト, う	彩度等) の違いを 輝度, Gamma, コ	規定・統一した国際規格です。 ニコモードが固定値となり調整でき

OSD 設定 OSD Setup	● 水平位置 ● 垂直位置 タイムアウ 言語	OSD 設定 50 50 ↓ 日本語 ▶		
調整項目		画面の状態/	′調整ボタン	
水平位置 H.Position	OSD が左に。 OSD が右に。	たってる たってる		
垂直位置 V.Position	OSD が下に。 OSD が上に。	たってる たってる		
タイムアウト Timeout	5 ~ 60 秒まう ます。	での間で OSD のオフ	タイマーを設定	
	English	英語表示	Portuguese	ポルトガル語表示
──────	Deutsch	ドイツ語表示	简体中文	中文簡体字表示
Language	Français	フランス語表示	Русский	ロシア語表示
	Español	スペイン語表示	日本語	日本語表示
	Italiano	イタリア語表示		

その他 Others その他 リセット はい 人力選択 Auto HDMI音声 LINE IN インフォメーション 入力: 人力: 1920(H)*1080(V) 水平周波数: 68KHz 垂直周波数: 60Hz				
調整項目		画面の状態 / 調整ボタン		
リカット	はい	工場出荷設定に戻します。		
Reset	いいえ	メニューに戻ります。		
	自動	映像入力を自動的に切り替えます。		
入力選択 Signal Select	D-SUB	映像入力を D-SUB 入力に切り替えます。		
	DVI	映像入力を DVI-D に切り替えます。		
	HDMI 映像入力を HDMI に切り替えます。			
 補足 オート設定時は、同時に2種類以上の信号が入力されている時、AUTOボタンを2~3秒 間押すたびに D-SUB / DVI-D / HDMIを切り替えることができます。どれか1種類の信号 が入力されている時は、入力されている信号を自動的に選択します。 選択したい信号の接続されているコンピュータが、パワーマネージメントモードになっている場合は、切り替えできません。 また、各入力に設定している時、信号入力は固定となり、自動選択しません。 				
HDMI 音声 * ¹	HDMI	音声入力を HDMI に切り替えます。		
HDMI audio	ライン入力	音声入力をライン入力に切り替えます。		
OD*2 OD	OFF/Mode1/Mode2/Mode3/Mode4/Mode5 レベル(Mode)が上がると応答速度が速くなります。 🔶 💻			
インフォメーション Information	コンピュータのグラフィックカードから入ってくる現在の入力信 号関連の情報を表示します。 補足 解像度とリフレッシュ速度の変更に関する詳細については、 グラフィックカードのユーザーガイドをご覧ください。			

*¹ 映像入力を HDMI に切り替えた時のみ選択可能。

*² レベル(Mode)によって残像が残る場合があります。

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

●入力選択:メニュー画面を表示していない時に、AUTO ボタンを 2 ~ 3 秒間押します。

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

● 音量調整:メニュー画面を表示していない時に、+ボタンを押します。

調整項目	画面の状態 / 調整ボタン	
音量調整 Volume	音量が小さい 音量が大きい	

アナログ入力のみ

● 自動調整:メニュー画面を表示していない時に、AUTO ボタンを押します。

調整項目	画面の状態 / 調整ボタン		
自動調整 *	水平 / 垂直位置 , クロック , フェーズ , の 4 項目を自動で調		
Auto Adjust	整します。		

* この機能を正常に動作させるには、画面調整パターンを表示させる必要があります。調整方法および手順については、P.17「画面の調整」を参照してください。

画面の調整

アナログ入力時は、必要に応じて画面を調整してご使用ください。

- ■本製品での画面調整とは、お使いのコンピュータシステムに合わせ画面の位置を調整したり、表示 される模様や文字のにじみ、ちらつきを最小限に調整することをいいます。
- ■本製品に搭載されている液晶パネルは、1920×1080の解像度の時に最高の性能が発揮できるよう 設計されています。1920×1080未満の解像度では、液晶パネル本来の性能は発揮できませんので、 通常は1920×1080の解像度で使用することをおすすめします。
- 拡大表示モードでは画面拡大処理の関係上、表示される文字がぼやけたり、線が部分的に太くなります。
- コンピュータのディスプレイドライバによっては、画面の位置、周波数の微調整ができるものがありますが、正常に表示できなくなる可能性がありますので、微調整は本製品側の調整機能を使用してください。
- 調整は、電源を「ON」して 30 分以上たってから行ってください。
- 自動調整は解像度や画像のタイミングにより、微調整が必要な場合があります。
- 画面調整パターン以外では、自動調整が正常に機能しない場合があります。そのようなときは手動で調整を行ってください。

本製品には、画面の調整方法として位置,クロック,フェーズを自動で行う方法と、個々の調整を手動 で行う方法があります。新しくコンピュータを接続したときや解像度を変更した場合は、まず自動調 整を行います。それでも文字のにじみやちらつき、位置ずれがある場合は手動で微調整を行います。 いずれも、弊社ホームページ (http://www.iiyama.co.jp/) からサポートページへアクセスし、「画面調 整プログラム」を起動して調整を行います。

次の手順に従い調整を行ってください。本書では、Windows 95/98/2000/Me/XP/Vista/7 を基準に説明しています。

①「画面調整プログラム」を起動します。

② お使いのモニタの解像度を選択すると、調整パターンが表示されます。

[調整パターン]



- ③ AUTO ボタンを押します。(自動調整)
- ④ 自動調整を行っても画面のちらつきやにじみ、位置ずれがある場合は、以下の手順で 手動調整を行います。
- ⑤ 調整メニューのクロックにて調整パターンの右枠が表示領域の右端にくるよう調整しま す。



⑥ 白黒一本おきパターンに注目し、横縞状のノイズ、にじみ、ちらつきが最小限になる よう、調整メニューのフェーズにて調整します。





⑦ 画面調整プログラムの「位置」を選択し、調整メニューの垂直位置,水平位置にてクロスハッ チパターンの上下左右枠が表示領域に入るよう調整します。

+ | +



- - クロック調整は白黒一本おきパターンに注目し、縦縞状のノイズが無くなるよう調整するの も一つの方法です。
 - クロック, 垂直位置, 水平位置を調整中、画面が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。
 - クロックを調整しても表示領域に収まらない場合は、③からもう一度調整を行ってください。

■ フェーズを調整しても画面の一部分にひどくにじみやちらつきが残る場合、クロックが正確に調整されていない可能性があります。⑤からもう一度調整を行ってください。 それでもにじみやちらつきが残る場合、コンピュータのリフレッシュレートを低く(60Hz)設定し、③から調整を行ってください。

■ フェーズを調整中、水平位置がずれてしまう場合は、フェーズ調整を終えてから水平位置にて 調整してください。 ⑧ 最後に、画面調整プログラムの「明るさ」を選択し、調整メニューのブライトネス,コントラストにて、調整パターン下部の白黒 16 階調が見えるよう、目が疲れない程度の明るさ、色合いに調節します。

「終了」をクリックしてプログラムを終了させてください。

パワーマネージメント機能

本製品のパワーマネージメント機能は、ENERGY STAR®, VESA DPMS の省電力に関する規格に対応し ており、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができま す。この機能は VESA DPMS に対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモー ドを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

■ パワーマネージメントモード

コンピュータからの水平同期信号 / 垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号 が OFF 状態になるとパワーマネージメントモード(消費電力 1W 以下)となり、画面が暗くなる とともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、 画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



- 補足
 パワーマネージメントモードでも電力を消費しています。夜間や週末などモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。
 - 水平または垂直同期信号が OFF になっているにも関わらずビデオ信号が出力されているコンピュータについては、パワーマネージメント機能が正常に動作しない場合があります。

日本語

故障かなと思ったら

「故障かな?」と思ったら次の順番で調べてみてください。

- 1.「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は2へ進んで ください。
- 2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
- 3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えな かったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販 売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。



- □ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか?
- ③ 画面の位置が片寄って □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか?
 - いる



④ 画面が明るすぎる /暗すぎる □ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか?



クリーニング

- 於警告
 万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または飯 iiyama サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。
- 注意 安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
 - 補足 凍晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしない でください。
 - キャビネットや液晶パネルを痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。



- ・シンナー ・スプレークリーナー ・ベンジン ・ワックス
- 研磨剤
 ・酸性、アルカリ性の溶剤
- キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- **キャビネット** 柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾 いた柔らかい布で拭いてください。
- 液晶パネル 定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと傷 が入る恐れがありますので、使用しないでください。

アフターサービス

保証書/保証期間について

- 本製品の保証書は、付属のセーフティ&クイックスタートガイドに記載されています。
- 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期限は本体お買い上げ日より3年間です。 ただし、液晶パネルおよびバックライトの保証期限は1年間となります。 また、保証期間内でも有料修理とさせていただく場合があります。詳しくは、付属のセーフティ& クイックスタートガイドの<保証条件>をご確認ください。

修理サービス

- ■「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店または iiyama サポートセンターへご連絡ください。
- 修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱 包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの 事由による修理は保証期間内であっても有料となります。

お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ず iiyama サポートセンターまでご連絡ください。

■本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)は、製造終了後5年間保有することを基本としております。しかし、部品によっては稀に5年間保有することができない場合や標準品とは違う同等品となる場合もございますのであらかじめご了承ください。また、補修用性能部品の5年間の保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店または iiyama サポートセンターにご相談ください。

■ 修理の際に弊社品質基準に適合した再生部品を使用することがございます。あらかじめご了承ください。

リサイクル/廃棄について

- 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。
- 本製品を弊社以外へ廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- ■本製品を一般家庭でご使用の場合は、弊社が無償で回収・再資源化いたします。ただし、本製品を 事業所でご使用の場合は、対象外となります。
- リサイクル/廃棄の詳細については弊社ホームページをご覧いただくか、iiyama サポートセンター リサイクル受付へお問い合わせください。

リサイクル/廃棄についてのお問い合わせ iiyama サポートセンター リサイクル受付

TEL 03-3570-6374



このマークが表示されている弊社製品は、 弊社が無償で回収・再資源化いたします。 詳細は弊社ホームページをご参照ください。 URL:http://www.iiyama.co.jp

日本語

付録

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

一般仕様

サイズカテゴリ		27"		
液晶	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス		
パネル	サイズ	対角 69cm(27")		
	画素ピッチ	水平 0.3113mm ×垂直 0.3113mm		
	輝度	300cd/m ² (標準)		
	コントラスト比	3000:1(標準), ACR 機能有		
	視野角	左右上下各 89° (標準)		
	応答速度	25ms (黒←→白)、8ms (グレー←→グレー)		
最大表示	示色	16,777,216 色		
走查周》	皮数	アナログ:水平:24 ~ 80kHz 垂直:55 ~ 70Hz デジタル:水平:30 ~ 80kHz 垂直:55 ~ 70Hz		
解像度		1920 × 1080 (最大), 2.1MegaPixels		
信号入力	カコネクタ	D-SUB ミニ 15 ピンコネクタ , DVI-D 24 ピンコネクタ, HDMI		
プラグ8	&プレイ機能	VESA DDC2B [™] 対応		
入力同期	期信号	セパレート同期: TTL, 正極性/負極性		
入力映像	象信号	アナログ:0.7Vp-p(標準), 75 Ω, 正極性 デジタル:DVI(デジタルビジュアルインターフェイス規格 Rev.1.0)準拠 デジタル:HDMI(Ver.1.3)		
音声入力	カコネクタ	ø 3.5mm ステレオミニジャック		
入力音声	声信号	1.0Vrms(最大)		
ヘッド	フォン端子	ø 3.5mm ステレオミニジャック		
スピープ	カー	2W × 2(アンプ付きステレオスピーカー)		
最大表示	示範囲	水平:597.6mm 垂直:336.2mm		
入力電》	原	AC100 ~ 240V 50/60Hz 1.5A		
消費電力*		42W(標準) パワーマネージメントモード時:1W(最大)		
外形寸法,重量		642.0(幅)× 438.5(高)× 210.0(奥行)mm, 6.0kg		
角度調節	節範囲			
環境条件	+	動作時: 温度 5~35℃ 湿度 10~80%(結露なきこと) 保管時: 温度 - 20~60℃ 湿度 5~85%(結露なきこと)		
適合規構	各	TCO 5.2, CE, TÜV-Bauart, PSE		

補足 * USB/ オーディオ機器未接続時。

日本語





対応信号タイミング

ビデオモード		水平周波数	垂直周波数	ドットクロック	
	VGA	640 × 480	31.469kHz	59.940Hz	25.175MHz
	SVGA	800×600	37.879kHz	60.317Hz	40.000MHz
	XGA	1024×768	48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz
	SXGA	1280×1024	63.981kHz	60.020Hz	108.000MHz
VESA	WXGA+	1440×900	55.935kHz	59.887Hz	106.500MHz
	UXGA	1600×1200	75.000kHz	60.000Hz	162.000MHz
	WSXGA+	1680×1050	65.290kHz	60.000Hz	146.250MHz
	Full HD	1920 × 1080	66.590kHz	59.930Hz	138.500MHz
PC9801		640 × 400	24.827kHz	56.424Hz	21.053MHz

補足 * デジタル入力に対応しておりません。

お客様の個人情報の管理および利用について —

当社は、お客様の個人情報について、「個人情報の保護に関する法律」および「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」に準拠し、取り扱いを定めて、適切に管理、利用いたします。

当社が定める「個人情報保護方針」は、下記 URL からご確認ください。

URL http://www.iiyama.co.jp/article/privacy_policy.html

IIYAMA CORPORATION

● 製品の取り扱いおよび修理についてのお問い合わせ

iiyama サポートセンター

■月曜日~金曜日

9:00 ~ 17:00(但し、弊社指定休日は除く) TEL 03-3570-6374 FAX 03-3570-6375

特定化学物質の含有情報は下記の弊社ホームページに記載しています。 URL: http://www.iiyama.co.jp/support/eco/jmos/index.html

サポートの最新情報 (連絡先等)は弊社ホームページに記載しています。 お問い合わせの前に、ホームページにてご確認ください。

URL: http://www.iiyama.co.jp/